

○一年間の動向

令和6年の那須町の観光客入り込み客数は平成6年以降で過去最高となった。令和6年の大型連休においては天候が落ち着いている日が多く、多くの観光客が那須を訪れるきっかけとなった。特にゴールデンウィークや夏休みといった主要な観光シーズンにおいて天候が安定していたため、アウトドアアクティビティを楽しむ旅行者が増えたと考えられる。町内の周遊が行われたと見受けられるのは、屋内施設の入り込みが大幅に増加したことで読み取れる。また、那須を選ぶ理由としては、有名旅行会社の旅行動向調査から自然公園が楽しめる場所（国立公園）、動物園や水族館、自然が楽しめる場所（登山やアウトドア）が上位を占めていること、旅行先としては関東が選ばれていることから、いずれも該当する那須町を選んだのではないかと推察できる。

さらに、那須地域が進める「Nasuways」プロジェクトの効果も徐々に表れてきた。町内外の交通や観光施設との連携が強化され、観光客が町全体を回遊しやすくなったことで、年当初が徐々に観光消費の拡大につながったと考えられる。

加えて、昨年から開始したインフルエンサーを活用したSNSPR事業も令和5年度に実施した段階で200万PV、令和6年度においては年間を通してPRを実施しているため（年度末集計予定、KPIは450万PV）一定の効果を上げた。結果としてInstagramやTikTokなどのSNSを通じて那須町の魅力が広まり、誘客の促進につながった。

宿泊数についても、昨年に比べ大幅に増加した。観光入込客数の増加要因に加えて、那須ならではのキャンプやグランピング施設があること、観光庁によるワーケーションの推進等により貸コテージやロッジなどの宿泊施設も増加したと推察できる。

インバウンド観光客については、昨年より減少となってしまったが、福島空港を利用する台湾人観光客の来町者は大幅に増加、来年度以降は台湾以外のアジア圏へ向けても増加させていきたい。